

＜報告事項＞

令和元年度事業報告書

令和元年度は、働き方改革や人材の確保・育成に努め、従業員が生きがいをもって働くことができかつ企業としての生産性が上がるよう、労働条件の整備を進めた1年であった。そうした中で、一昨年から続く東南アジア諸国のスクラップ輸入規制への新たな対応策を模索するなど資源循環産業としての新たな道づくりに取り組んだ。また、令和2年になって新型コロナウイルスの感染が拡大し、その防止と社会インフラ産業としての事業継続という両立を余儀なくされた年度末となった。

協会は、会員企業の円滑な事業推進のための環境を整えることをモットーに、事務局の運営方法の改善を図りながら、各種研修会・講習会の実施、関係法令等の情報提供、東京都予算・制度改正等に対する知事や政党への要望、建設業界などの各種団体への働きかけなど、組織団体だからこそできる活動・事業を鋭意推進してきた。また協会の実質的な活動を支える7つの委員会、その下の分科会や勉強会、さらには3つの部会は、常日頃から、それぞれが設定した課題解決・目的実現に向け活発な活動を行ってきた。

以下、主な活動を報告する。

1. 適正処理・資源循環推進事業

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

廃棄物処理法令その他関係法令の改正の動向に的確に対応するとともに、個別課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため、行政データの分析・活用や委員会等での検討、視察など調査研究を行い、協会または協会会員としての取組方針の策定や要望等を実施した。

2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。

① 建設廃棄物・三者施設見学研修会 見学会：28名 勉強会：31名

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

対 象 者 : 東京都環境局資源循環推進部
(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会
(一社)東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会

期 日 : 令和元年10月9日

見学先施設 : (株)デイ・シイ 川崎工場 (神奈川県川崎市)
(株)浜田 京浜島エコロジセンター (大田区)

勉強会講師 : 東京都環境局資源循環推進部

〃 内容 : ・PCB廃棄物の処理促進に向けて
・東京都の廃プラスチック対策について

〃 場所 : (一社)東京建設業協会 会議室 (中央区)

② 第5回医療廃棄物排出事業者向けセミナー 94名

[本協会・医療廃棄物委員会 主催]

対象者 : 医療廃棄物排出事業者

期 日 : 令和元年11月29日

内 容 : 医療廃棄物の基礎知識
「これだけは守っておきたい排出事業者責任のルール」
パネルディスカッション
「医療廃棄物の安全と排出事業者責任について」

講 師 : (株)日本シルバー
協会顧問弁護士事務所のパートナー弁護士
パネルディスカッション
(株)シンシア (株)トキワ薬品化工 東京工業大学学術研究員

場 所 : エッサム神田2号館 (千代田区)

③ 医療廃棄物適正処理研修会 60名

[本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催]

対象者 : 特別管理産業廃棄物管理責任者等

期 日 : 令和2年2月8日

内 容 : 在宅医療廃棄物を巡る諸課題
水俣条約を踏まえた水銀廃棄物対策について
産業廃棄物が適正に処理されるために～排出事業者が果たす責任とは～
廃水銀血圧計・廃水銀体温計自主回収への東京都医師会の取組について
東京都医師会方式による医療廃棄物追跡管理システムの活用について

感染性廃棄物の取扱と注意点

講師：(公社)日本医師会
 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課
 東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課
 (公社)東京都医師会
 (公財)東京都環境公社
 (一社)東京都産業資源循環協会 医療廃棄物委員会

場所：東京都医師会 2階講堂(千代田区)

④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース

[本協会 主催] 102名

期日：第1回 令和元年10月21日 37名

対象者：排出事業者・処理業者における実務担当者等

内容：産業廃棄物処理の基礎
 産業廃棄物の委託処理と委託契約／産業廃棄物管理票／帳簿

講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場所：フォーラムミカサエコ(千代田区)

期日：第2回 令和元年11月27日 29名

対象者：排出事業者・処理業者における実務担当者等

内容：建設系廃棄物処理委託契約書について
 建設系廃棄物マニフェストについて

講師：(一社)東京都産業資源循環協会 相談員

場所：フォーラムミカサエコ(千代田区)

期日：第3回 令和2年2月12日 36名

対象者：排出事業者・処理業者における実務担当者等

内容：産業廃棄物処理の基礎
 産業廃棄物の委託処理と委託契約／産業廃棄物管理票／帳簿

講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場所：フォーラムミカサエコ(千代田区)

[実施機関：(公社)全国産業資源循環連合会 実施協力：本協会] 149名

対象者：排出事業者・処理業者における実務担当者等

期日：令和2年2月4日

内容：産業廃棄物処理の基礎
 産業廃棄物の委託処理と委託契約／産業廃棄物管理票／帳簿

講師：(公社)全国産業資源循環連合会

場所：飯田橋レインボービル(新宿区)

2) 講習会事業（許可申請等に関する講習会）

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である（公財）日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

① 新規許可申請講習会 1, 043名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	：	第1回	令和元年	5月16日～17日	155名
		第2回	令和元年	6月6日～7日	156名
		第3回	令和元年	9月5日～6日	165名
		第4回	令和元年	11月21日～22日	164名
		第5回	令和2年	1月9日～10日	154名
		第6回	令和2年	3月12日～13日	132名

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	：	令和元年	10月	2日～4日	117名
場所	：	ベルサール西新宿（新宿区）			

② 更新許可申請講習会 1, 447名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	：	第1回	令和元年	5月10日	163名
		第2回	令和元年	6月14日	161名
		第3回	令和元年	7月5日	177名
		第4回	令和元年	9月20日	160名
		第5回	令和元年	10月11日	164名
		第6回	令和元年	11月8日	173名
		第7回	令和元年	12月13日	148名
		第8回	令和2年	1月17日	162名
		第9回	令和2年	3月6日	139名

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2, 441名

期日	：	第1回	令和元年	5月9日	157名
		第2回	令和元年	5月15日	158名
		第3回	令和元年	6月5日	150名
		第4回	令和元年	6月13日	161名

第5回	令和元年	7月11日	164名
第6回	令和元年	7月12日	166名
第7回	令和元年	9月4日	165名
第8回	令和元年	9月19日	168名
第9回	令和元年	10月10日	168名
第10回	令和元年	11月7日	168名
第11回	令和元年	12月5日	160名
第12回	令和元年	12月6日	166名
第13回	令和2年	1月16日	163名
第14回	令和2年	2月6日	162名
第15回	令和2年	2月7日	165名
第16回	令和2年	3月5日	中止※

場所：ベルサール西新宿（新宿区） ※新型コロナウイルス感染防止のため

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会（医療関係機関等対象） 150名

期日：令和元年 9月13日

場所：日本医師会館（文京区）

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 188名

期日：第1回 令和元年 7月4日 97名

第2回 令和2年 2月18日 91名

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

(3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。令和元年度の相談件数は、2,536件であった。

令和元年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,536件の内訳)		II 照会・相談・質問 者内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,596	排出事業者等	1,881	会員紹介	1,700		
	相談事項	287			法令	343		
	質問事項	603			処理方法	170		
面接 WEB等	処理先照会	50	処理業者	248	契約書・管理票	182		
	相談・質問事項		建設業関係	162	リサイクル関連	16		
			行政機関	55				

計	2,536
---	-------

コンサル	35
医療機関	60
一般都民	95

建設廃棄物	2
許可関係 (講習会関係以外)	83
その他	40

2. 環境対策事業

(1) 環境活動

会員各位の協力を得て「ベルマーク回収による災害被災校への支援活動」を女性部が中心となり行った。

また、(一社)広島県資源循環協会から当協会に対し贈られた令和元年度台風19号等に伴う義援金(見舞金)に当協会が同額を加えた額を、令和元年11月28日現在東京都福祉保健局が募集していた「令和元年度台風第15号東京都義援金(島しょ地域分)」に寄付をした。

(2) 環境対策事業

該当事業なし。

(3) 災害廃棄物対策事業

大規模災害による災害廃棄物が東京23区内で発生した場合に、円滑かつ迅速に災害廃棄物の対応を行うため、事業者団体等への協力要請に関する基本的事項を定めた協定を、23区及び東京二十三区清掃一部事務組合と締結した。

3. 普及事業

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全衛生に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

2) 図書等の有償頒布

有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	982部
建設廃棄物処理委託契約書	1,433部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	182部

車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	16社	33組
シート(固定)式	10社	29組
合計	26社	62組

*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、（公社）全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、「電子マニフェストに係る説明会」を実施するとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔（公社）全国産業資源循環連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	181,600セット	129,500セット	311,100セット
	積替用	25,900セット	62,000セット	87,900セット
建設系廃棄物		378,100セット	289,500セット	667,600セット
合計				1,066,600セット*

*対前年度比 99.0%

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	8,200セット
--------------------------	----------

電子マニフェストに係る説明会

177名

〔（公社）全国産業資源循環連合会業務委託「電子マニフェスト運用支援業務」〕

対象者： 排出事業者及び収集運搬業者・処分業者のマニフェスト業務の実務担当者等、電子マニフェストの導入を検討されている企業等

講師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター

開催日時		内容	場所	参加者
令和元年 10 月 29 日	14:00 ～16:00	電子マニフェスト 操作体験セミナー	ラーニングスクエア 新橋（港区）	19 名
令和元年 12 月 3 日	14:00 ～16:00	電子マニフェスト 導入実務説明会	エッサム神田ホール 1 号館（千代田区）	45 名
令和元年 12 月 18 日	10:00 ～12:00	電子マニフェスト 操作体験セミナー	ラーニングスクエア 新橋（港区）	19 名
	14:00 ～16:00			18 名
令和 2 年 1 月 21 日	14:00 ～16:00	電子マニフェスト 導入実務説明会	エッサム神田ホール 1 号館（千代田区）	39 名
令和 2 年 2 月 18 日	14:00 ～16:00	電子マニフェスト 導入実務説明会	エッサム神田ホール 1 号館（千代田区）	37 名
令和 2 年 3 月 3 日	14:00 ～16:00	電子マニフェスト 導入実務説明会	エッサム神田ホール 1 号館（千代田区）	中止※

※新型コロナウイルス感染防止のため

(2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんばい」は第 3 4 4 号から第 3 5 5 号まで計 1 2 号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① [中間処理委員会]
中間処理業者向け省エネルギー研修会が開催された
～ 省エネ 101 のプロポーザル ～
- ② [関東地域協議会]
第 6 2 回 関東地域協議会開催される
環境省・課長 全産連・専務理事が講演
- ③ [第 7 回定時総会]
平成 3 0 年度事業報告、決算を承認
令和元年度表彰式 4 部門で 6 社と 1 8 名が受賞
- ④ [2 0 1 9 年度国内処理施設見学研修会]
太平洋セメント株式会社 上磯工場を見学
- ⑤ [多摩支部]
幹事会・支部会・講演会・研修会を開催
講演会「働き方改革の推進にあたって、経営者が留意すべきこと」
研修会「多摩環境事務所及び八王子市における行政情報提供等」
- ⑥ 令和 2 年度東京都予算等で要望活動 高橋会長ら役員が都議会 4 党へ
- ⑦ 令和元年度 医療廃棄物合同懇談会が開催された

- ⑧ [建設廃棄物委員会]
東京建設業協会・東京建物解体協会との三団体合同施設見学会
- ⑨ 東京都予算に対する小池知事ヒアリング
- ⑩ 業界団体連携によるテレワーク導入促進事業
『テレワーク導入まるわかりセミナー』を開催
- ⑪ 新春講演会・賀詞交歓会を盛大に開催
講演:元福島県郡山警察署長『震災を伝える ～誇りと使命感～ 』
- ⑫ 令和2年度 事業計画および予算決まる

(3) 会 員 事 業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 国内処理施設見学研修会 26名

期 日 : 令和元年6月21日 ~ 22日
見学先 : 太平洋セメント(株) 上磯工場 (北海道北斗市)

② 安全衛生研修会 226名

[安全衛生推進委員会 主催]

ア 第1回 安全衛生研修会

期 日 : 令和元年6月12日 84名
内 容 : 「我が社における安全衛生推進の取組み」
当協会のこれまでの安全衛生表彰被表彰者から6社の安全管理担当者が上記内容をテーマに発表した。

講 師 : (株)三凌商事 J&T環境(株) 東京エコリサイクル(株)
武蔵野土木工業(株) (株)ハチオウ 都築鋼産(株)

場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

イ 第2回 安全衛生研修会

期 日 : 令和元年10月17日 79名
内 容 : 「現場の実例に学ぶ」
【第1部】『安全講話「先端の作業員さんを守る」』
【第2部】『適正処理に向けた排出事業者の責務及び品目の標準化』

講 師 : 鹿島建設(株)

場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

ウ 第3回 安全衛生研修会

期 日 : 令和2年2月7日 63名

内 容 : 「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策」
講 師 : 東京労働局
場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

③ ドライブレコーダーの活用方法・運用事例 研修会

[収集運搬委員会 主催]

期 日 : 令和元年9月27日 50名
内 容 : 【第1部】デジタコやドライブレコーダーを活用しきれていない現
状と進化し続けている車載システムの紹介
【第2部】同業車輛に設置されていたドライブレコーダーのヒヤリ
ハット動画を使用し、グループワーク形式の実務者研修
講 師 : 【第1部】(株)JEMS
【第2部】(株)ハチオウ
場 所 : エッサム本社ビル グリーンホール(千代田区)

④ 火災予防研修会

[中間処理委員会 主催]

期 日 : 令和元年10月4日 47名
内 容 : 【第1部】「産業廃棄物の事故事例と火災予防について」
【第2部】Ⅰ「火災発生リスク診断について」
Ⅱ「火災対策について」
講 師 : 【第1部】東京消防庁
【第2部】Ⅰ(株)初田製作所 / Ⅱセコム(株)
場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

⑤ CO2削減取り組み発表会

[中間処理委員会 主催]

期 日 : 令和2年2月17日 57名
内 容 : 【第1部】「我が社のCO2削減の取組みについて」発表会
【第2部】Ⅰ講演「中小企業事業所における省エネ効果分析」
Ⅱ講演「東京都の中小企業事業所向け支援策」
講 師 : 【第1部】比留間運送(株) 大谷清運(株) 成友興業(株) 東港金属(株)
相田化学工業(株) 高俊興業(株) 加藤商事(株)
【第2部】Ⅰ 東京都環境局
Ⅱ 東京都地球温暖化防止活動推進センター
(クールネット東京)
場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

2) 会員交流・増強事業

- ① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。
- ② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
平成30年度末会員数	556	79	635
令和元年度入会者数	11	7	18
〃 退会者数	16	7	23
令和元年度末会員数	551	79	630

- ③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

3) 顕彰・表彰事業

令和元年度は、『優良事業所表彰』6社、『功労者表彰』4名、『優良従事者表彰』10名、安全衛生表彰『安全衛生推進委員会委員長賞表彰』4名を表彰した。

4) 人材の確保に向けた採用支援

① 人材確保PT勉強会

4月22日、5月14日、6月4日、7月16日、9月24日、10月29日、11月25日、1月28日、2月25日の計9回勉強会を開催した。

8月29日には、「人材確保(中途採用)・採用力アップセミナー」を協会会員を対象に開催した。

2月10日には、「環境ビジネス☆インターンシップ&業界研究フェア」を出展企業16社で開催し、大学生等162名が来場された。

② 「団体別採用カスパイラルアップ事業」 (東京しごと財団受託2ヵ年事業)

[企画・提案は協会]

標記事業を活用して、昨年度に引き続き事業を行った。『働き方改革』や『女性

の活躍推進』の視点に立ち、この事業に参加した会員企業が、人材の育成や定着、雇用環境整備等に取り組めるよう支援を行った。

従業員の定着を図る階層別働き方改革セミナー

経営者層向け

5社 7名

期 日 : 平成31年4月15日 (第三回)
内 容 : 経営戦略としての働き方改革・女性の活躍推進セミナー
講 師 : 特定社会保険労務士
場 所 : TKP 新宿カンファレンスセンター (新宿区)

管理職向け

22社 47名

期 日 : 平成31年4月23日 (第一回)
令和元年8月20日 (第二回)
内 容 : 働き方改革のためのチームマネジメントセミナー
講 師 : 特定社会保険労務士
場 所 : TKP 新宿カンファレンスセンター (新宿区)

従業員向け

20社 30名

期 日 : 令和元年5月9日 (第一回)
令和元年9月12日 (第二回)
内 容 : 人生の充実を目指す働き方改革セミナー
講 師 : 特定社会保険労務士
場 所 : TKP 新宿カンファレンスセンター (新宿区)

支援企業25社に対して

個社別コンサルティング 25社 100回

個社別出張研修 25社 51回

「産業廃棄物処理検定」対策研修会

従業員のキャリアアップとなる「産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)」の資格取得を支援した。資格取得によりモチベーションアップとなって人材定着につながることを目的としている。2月16日に検定試験が実施され、合格率全国平均48.5%に対し、本講習会受講者の合格率は72%と高い結果を示した。

第一回

期 日 : 令和2年1月29日 24名
講 師 : BUN 環境課題研修事務所 所属講師
(公財) 日本産業廃棄物処理振興センター 講師
場 所 : 立川グランドホテル (立川市)

第二回

期 日 : 令和2年1月30日 29名

講 師 : (公財) 日本産業廃棄物処理振興センター 講師

場 所 : 鉄鋼カンファレンスルーム (千代田区)

第三回

期 日 : 令和2年2月6日 29名

講 師 : (公財) 日本産業廃棄物処理振興センター 講師

場 所 : 鉄鋼カンファレンスルーム (千代田区)

出前講座

学生に対して資源循環業界をアピールし、人材確保につながるように出前講座を実施した。

青年部

期 日 : 令和元年9月26日 31名

内 容 : キャリアデザイン 環境学習 計画

実施校 : 日本工学院八王子専門学校

場 所 : 日本工学院八王子専門学校 (八王子市)

女性部

期 日 : 令和元年10月10日 25名

内 容 : 資源リサイクルを考えるワークショップ

実施校 : 都立六郷工科高等学校

場 所 : 東京スーパーエコタウン (大田区)

好事例企業の表彰

期 日 : 令和2年1月24日 2社

場 所 : ホテル椿山荘東京 (千代田区)

取組事例集の作成

5社の事例を収載 1,000部作成 全会員企業、各都道府県協会へ送付

③「業界団体連携によるテレワーク導入促進事業」(東京都補助事業)

生産性の向上を図る新しいワークスタイルとしてテレワーク導入を希望する企業を募り、導入までの支援を行った。テレワークの導入により、長時間労働の改善、仕事と子育てを両立できる職場環境作りがなされ、離職防止効果が期待できる。

応 募 : 16社

セミナー実施等の機運醸成事業

期 日 : 令和元年12月5日 12社 12名

内 容 : テレワークについて (テレワークの現状・メリット・その他)
テレワークを「知って!」「まずはやってみる」
補助金事業申請の流れ

場 所 : 新宿サンエービル (新宿区)

企業コンサルティング事業

11社

テレワーク導入コンサルティング (①課題分析 ②改善提案 ③パッケージ提案
④フォローアップ) を実施

業界内モデル就業規則の作成・周知

協会ホームページに掲載

機関誌「とうきょうさんばい」第356号に掲載する。

4. 管 理 運 営

(1) 総 会 (1回)

第7回定時総会 期 日 : 令和元年 5月24日
場 所 : ホテル椿山荘東京 (文京区)
議 案 : ①平成30年度事業報告の件
②平成30年度決算報告承認の件
出席者 : 381名 (委任状を含む)

(2) 理事会 (定例会8回)

第52回理事会 期 日 : 平成31年 4月10日
第53回理事会 期 日 : 令和 元年 5月 8日
第54回理事会 期 日 : 令和 元年 7月10日
第55回理事会 期 日 : 令和 元年 9月11日
第56回理事会 期 日 : 令和 元年11月13日
第57回理事会 期 日 : 令和 元年12月11日
第58回理事会 期 日 : 令和 2年 1月15日
第59回理事会 期 日 : 令和 2年 3月11日

(3) 常任理事会 (11回)

平成31年	4月10日	平成31年	4月23日	令和 元年	5月 8日
令和 元年	7月10日	令和 元年	7月23日	令和 元年	9月11日
令和 元年	10月23日	令和 元年	11月13日	令和 元年	12月11日
令和 2年	1月15日	令和 2年	3月11日	令和 2年	3月24日 中止 [※]

※新型コロナウイルス感染防止のため

(4) 協会事務運営

1) 会費の集金事務（自動振替のすすめ）

正会員会費の「預金口座振替制度」は既の実施しているが、協会事務の効率化と請求書送料等通信運搬費の削減のため、原則預金口座からの自動引き落としとすることを7月の理事会で決定し、8月より改めて預金口座振替への切替を正会員に依頼した。結果、約8割の正会員企業が自動振替となった。

2) 正会員への電子メールによる情報提供

これまで正会員への急ぎの連絡には、FAXを使っていたが、夜間に着信音がして迷惑などの苦情が寄せられたため、電子メールによる情報提供に変更した。

メールアドレスを登録いただいた正会員は50社程度にとどまっているが、国や東京都、(公社)全国産業資源循環連合会などから急ぎの調査依頼などがあるので、正会員の多くの方々のメールアドレスの登録を期待している。

5. 委員会・部会活動

(1) 総務委員会

事業計画や執行に関する基本的事項や横断的事項、協会の財政基盤強化策などについて協議し、調整を行った。

分科会である**法制度検討委員会**は、年6回委員会を開催し、昨年度から引き続きの検討事項「区市町村処理困難物の産業廃棄物処理業者処理について」は、6月の委員会で検討を終了し、まとめを機関誌第349号に掲載した。新たなテーマである生産性向上につながる業務システムの構築として電子化を推進するため「電子契約、電子マニフェスト、帳簿、請求書の効果的な連鎖」について検討中である。

なお、法制度検討委員会は、令和2年度から、総務委員会の下に分科会ではなく、独立した委員会とすることとした。

(2) 広報委員会

機関誌『とうきょうさんばい』の発刊

- ① 機関誌発刊のため、毎月1回（年12回）委員会を開催した。
- ② 記事内容については、法令関係等会員各位へ迅速にお知らせすべき事柄に注力した。
- ③ 協会主催の行事内容については、詳細に伝達した。
- ④ 協会各役員の方策活動について伝達した。
- ⑤ 資源循環情報等会員各位の事業について積極的に紹介した。
- ⑥ 会員読者の誌面への参加を求めた。

(3) 安全衛生推進委員会

4回の委員会と3回の研修会等を以下のとおり実施した。

- ① 安全衛生研修会 [本議案書P9 3.-(3)-1)-②アイ 参照]
- ② 安全パトロール
新たな取組みとして、会員企業への安全パトロールを1回、9月に実施した。
- ③ 全国労働衛生週間と年間標語ポスターを会員各社に配布した。
- ④ 当協会の平成31年度労働災害防止計画に定めた削減目標は、残念ながら都内の産業廃棄物処理業の死傷者数が増加しており達成できなかった。また、会員各社からの取組状況報告では活動目標を達成できていない。
- ⑤ 非会員企業を含む産業廃棄物処理業界全体の労働災害を防止するため、協会窓口でmanifestoを購入した事業者に労働災害防止に関するポスター、リーフレット、ステッカー等を配布した。
- ⑥ 総会では、安全衛生活動に顕著な実績を示した4名の表彰を行った。

(4) 収集運搬委員会

- ① 委員会を4月12日、6月11日、7月22日、2月5日の計4回開催した。
- ② 4月～7月にかけて「働き方改革関連法案」の施行を見据え、現在のドライバーの勤務状況の把握や労働条件の改善の必要性など、アンケート調査を行い委員会内でディスカッションを行った。また社会保険労務士の先生にも同席して頂き法的規制の重要事項、ワンポイントアドバイス等、今後の各社での取組みの一助として活用して頂くため令和元年10月1日発行の機関誌に掲載した。
- ③ 研修会 9月27日「ドライブレコーダーの活用方法・運用事例 研修会」
[本議案書P10 3.-(3)-1)-③ 参照]
- ④ 見学会
11月28日、東京都調布市にある鹿島建設技術研究所の施設見学会を行った。巨大な建設物が如何に先進技術に支えられ、環境に配慮されて建てられているかを学び、免震、耐震技術、機械の遠隔操作、自動運転など建設業界でもAIやIoTなどを加速させる重要性を感じた。

(5) 中間処理委員会

- ① 委員会を4月24日、7月8日、10月16日の計3回、研修会を2回開催した。
- ② 4月24日には、太平洋セメント(株)を招き意見交換した。
これらの取り組みが東京都環境局、(公財)東京都環境公社、セメント会社及び当協会4者による令和2年5月スタートのセメント会社への廃プラスチックの共同輸送実証事業につながっている。

- ③ 研修会 10月4日「火災予防研修会」及び2月17日「CO2削減取り組み発表会」 [本議案書P10 3.-(3)-1)-④⑤ 参照]
- ④ 破碎・圧縮分科会では、リチウムイオン電池発火問題、廃プラスチック問題について意見交換した。
- ⑤ 焼却分科会では、廃プラスチック受入動向、安全対策・熱中症予防、新型コロナウイルス感染拡大の影響について、情報交換した。
- ⑥ 中和・脱水分科会では、流動性廃棄物に特化したWDSの運用方法の検討を進めた。

(6) 建設廃棄物委員会

- ① 委員会を6月14日、8月2日、11月26日の計3回、施設見学会及び勉強会を1回開催した。

6月14日

- ・マニフェスト事務作業の軽減策について（加えて7月4日には建設混合廃棄物に係わるメンバーでマニフェスト事務作業の軽減策を検討）

8月2日

- ・マニフェスト事務作業の軽減策について（アンケート集計結果）

10月9日

- ・施設見学会及び勉強会 [本議案書P1 1.-(2)-1)-① 参照]

11月26日

- ・マニフェスト事務作業の軽減策についての改善要望事項アンケート（まとめ）
- ・建設廃棄物処理・処分価格実態調査について

② 建設混合廃棄物分科会

一都三県建設混合廃棄物意見交換会では、特殊品目名称の統一とデジタル・プラットフォーム構築の実現に向けて建設廃棄物の適正処理の推進と業務効率化セミナーとして、「請求品目の標準化及び電子マニフェスト登録の統一化」（8月22日）と「排出事業者に知ってもらう処理の現状と適正処理について」（2月25日）をテーマに開催した。

③ 再生骨材等勉強会

再生骨材等の製造工場の見学会を4月11日に武蔵野土木工業(株)、6月4日に増尾リサイクル(株)、8月6日に宮松エスオーシー(株)りんかい工場の計3回施設を視察した。これらの製造工場の製品品質や供給体制の現状を確認し、10月18日、1月27日に再生骨材等の普及促進について意見交換を行い、建築工事標準仕様書での位置付けの明確化などを東京都に要望した。

(7) 医療廃棄物委員会

- ① 6月26日 医療廃棄物安全講習会

練馬区医師会の講習会で当委員会委員が講師を務めた。参加者は86名であった。なお、講師派遣を予定していた令和2年2月開催の日本橋医師会・中央区医師会合同の講習会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

② 9月13日 医療廃棄物合同懇談会

静岡にて静岡・神奈川・東京の三都県の医療廃棄物委員会委員が集結して懇談会を行った。

- ・各都県の直近の取組状況を報告
- ・「有害廃棄物・医療廃棄物を取りまく最新情報」というテーマで、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課 よりご講演いただいた。
- ・意見交換会（自由討論。台風の被害対策など。）を行った。

③ 11月29日 医療廃棄物排出事業者向けセミナー

〔本議案書P2 1.-(2)-1)-② 参照〕

④ 2月8日 医療廃棄物適正処理研修会

〔本議案書P2 1.-(2)-1)-③ 参照〕

⑤ 2月27日 施設見学会（静岡県内の医療廃棄物処理施設）

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考え延期した。

(8) 多摩支部

① 多摩支部会・研修会

6月28日の支部会では、多摩支部法制度検討委員会・コミュニケーション委員会・教育研修委員会より活動報告を行った。また施設見学会の見学先及び日程等の確認をした。

支部会終了後、教育研修委員会主催による、「働き方改革の推進に当たって、経営者が留意すること」と題して、特定社会保険労務士 富島 高志氏よりご講演をいただいた。続いて多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課より、多摩地区における行政情報についてお話しいただいた。

② 施設見学会

9月6日～7日に実施したコミュニケーション委員会主催の施設見学会は、主に建設系廃棄物の処理とリサイクルを行っている(株)佐倉環境センターと、木質系廃棄物を直接処理しパーティカルボード等の製造販売を行っている、東京ボード工業(株)佐倉工場を見学した。

見学会終了後、小湊温泉に宿泊し、支部会員同士親睦を深めることができ大変有意義な見学会、懇親会となった。

③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

3月6日の多摩支部幹事会では令和2年度の事業計画の日程等について討議、決定した。その後、多摩支部法制度検討委員会主催により、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課の出席のもと、多摩地区での行政情報や感染

性廃棄物（新型コロナウイルス）や災害廃棄物への対応等活発な意見交換を行った。

(9) 青年部

前年度に引き続き、内部活性化を主とした活動展開を行った。

① 総務・広報委員会

（各事業の受付業務及び会計報告、各事業の記事写真等の広報担当）

- ・前年度に引き続き、青年部員間で部員をよく知り仲間意識を高める為、部員紹介記事作成を行い月2名程度を目標にインタビューを実施し、(公社)全国産業資源循環連合会青年部協議会インターネット情報『れんらく網』に載せ、部員内で情報共有を図った。

② 研修委員会

（経営層だけでなく、全部員にとっても個のスキルアップや魅力ある研修会・勉強会担当）

- ・6月6日 講演会「業務効率化 受発注、配車、営業支援の一貫した支援を実現するクラウドスの紹介」
「RPF 輸出による廃プラ処分の動向」
- ・1月29日 講演会「サーキュラーエコノミー、SDGs について経済環境の今後」
「2020年オリンピック YEAR 建設、環境の今後」
「自転車競技の見どころとオリンピックへの抱負」
- ・3月13日～14日 合宿研修会「マネジメント」
※新型コロナウイルス感染拡大のため、来年度へ延期

③ コミュニケーション委員会

（青年部間のコミュニケーションを取りやすくする仕掛けを積極的に実施、各事業後の懇親会担当）

- ・4月16日 東京を知る！を目的に視察船東京巡り&港区清掃工場視察見学会
- ・8月24日 都内で出来る自然体験@青梅：BBQ 懇親会(部員家族・社員交流)

④ その他

- ・賀詞交歓会、総会実施
- ・7月18日 女性部との合同研修会：ほめ達研修会開催
- ・(公社)全国産業資源循環連合会青年部協議会及び関東ブロック賀詞交歓会、総会への参加
- ・9月26日 出前講座の実施（団体別採用カスパイラルアップ事業）

(10) 女性部

令和元年度の女性部は、コミュニケーションの幅を広げ、外部に向けての発信力と交流をさらに強めていくための活動実施に注力してきた。主な活動は以下の通り。

<研修グループ>

- ① 6月20日 施設見学会

見学先：(株)Jバイオフードリサイクル 横浜工場

J&T環境(株) 鶴見蛍光灯リサイクル工場

- ② 2月～3月 マニフェスト処理効率化に向けたアンケート実施・集計

<コミュニケーショングループ>

- ① 7月18日 青年部・女性部合同勉強会

「ほめる達人という生き方セミナー」

講師：一般社団法人日本ほめる達人協会 理事長

- ② 12月19日 当協会役員による勉強会

<社会貢献グループ>

- ① 協会内ベルマーク運動支援

- ② 10月10日 出前講座の実施（団体別採用カスパイラルアップ事業）

六郷工科高等学校デュアルシステム科3年生の1クラス

（生徒21名／教師4名）

<経営者勉強会>

- ① 10月17日 労務勉強会

「働き方改革関連法を踏まえた労務管理」

講師：社会保険労務士法人中村・中辻事務所 特定社会保険労務士

関東地域協議会女性部会への参加

- ① 9月13日 第3回通常総会、勉強会

「廃棄物処理法と楽に付き合う方法～メリハリをつけた契約書・マニフェストの運用等～」

講師：弁護士

- ② 11月15日 「女性部会のつどい in 神戸」

- ③ 2月21日 「関東地域交流会」（東京女性部主催）

勉強会：「SDGsを知り、使いこなそう」～企業価値を高めビジネス展開を～

講師：株式会社チームイノベーション 代表